

製品名: eIF4E ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01941**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル抗体 |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.28mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50 |
| 分子量 | Calculated MW: 25 kDa; Observed MW: 25 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | EIF4E |
| 別名 | EIF4E; EIF4EL1; EIF4F; Eukaryotic translation initiation factor 4E; eIF-4E; eIF4E; eIF-4F 25 kDa subunit; mRNA cap-binding protein |
| 遺伝子 ID | 1977 |
| SwissProt ID | P06730 |
| 免疫原 | ヒト eIF4E の合成ペプチド |

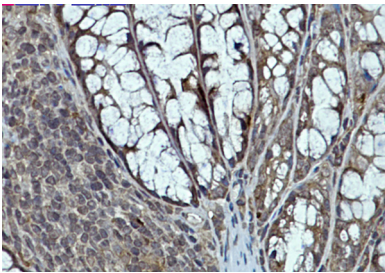
背景

eIF4E は、接合子転写開始前の初期胚において、母体 mRNA の翻訳を調節するタンパク質です。eIF4E は翻訳速度全体にも影響を与えます。eIF4E は真核生物 mRNA の 7 メチル GTP キャップ構造に結合します。eIF4E のセリン 209 のリン酸化は、このタンパク質の 7 メチル GTP キャップおよび/または RNA に対する親和性を調節します。リン酸化はまた、eIF4E と eIF4G の相互作用を促進し、eIF4F と呼ばれる複合体を形成します。eIF4E のリン酸化は、多くの細胞種において翻訳速度の上昇と関連しています。

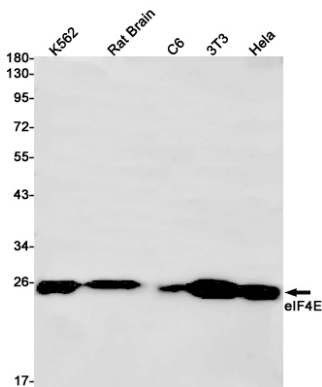
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



eIF4E 抗体を使用したパラフィン包埋マウス結腸の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



eIF4E 抗体を使用した、K562、ラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の eIF4E のウエスタンブロット分析。